

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハイタッチ！立川幸教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 12月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	豊富な運動器具を使った活動	毎月職員で運動器具の使い方、補助の方法を研修をしている。	研修時は写真や動画を撮影し、参加できなかった職員や新入職員への共有を行っていく。
2	スタッフの教育環境の整備、職員配置	外部の研修情報をこまめに取得し、適宜研修の受講を促す。 必要があれば、参加費用を負担し受講を促している。 適切に加算を取得し、体制を整えている。	必要に応じて研修を積極的に受講し、知識や経験を身につけてもらう。
3	地域の事業所間の連絡会に参加	必要に応じて利用者の支援方法について事例検討をしながらグループディスカッションをしている。	連絡会で得た情報を職員間に共有する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の怪我への配慮	器具を使つての運動やマット運動などを提供する関係上、怪我の恐れがある。	定期的に研修を通して怪我をしないように補助の仕方を身につける。
2	療育内容のマナー化	利用が長くなると、飽きてくる児童もいる。	職員間で有用な新しい運動メニューを共有していく。
3			